

Change ! Challenge ! Manage!! 知財業界を中長期的な視点で考察し、 将来の知財マネジメントに向けた提言を行う

マネジメント第1委員会 委員長

渡邊 潤

(所属：株式会社ブリヂストン)

マネジメント第2委員会 委員長

大谷 憲一

(所属：花王株式会社)



interview

自己紹介

渡邊：探索事業の知財戦略立案と出願権利化の仕事をしています。JIPA活動は、特許委員会（2010-13年）、マネジメント委員会（2019年より）です。趣味は、料理と位置情報ゲームをしながらのウォーキングです。

大谷：情報戦略、外部連携の仕事をしています。2018年より一貫してJIPAのマネジメント委員会で活動しています。趣味は、ゴルフとパン作りです。

Q 研究テーマとそれらを選んだ背景・理由は？

マネジメント委員会は第1・第2の2つの委員会が一体となり、専門委員会の中で最も経営と知財との関わりを議論し、時代に応じた「経営に資する知財マネジメント」を探究しています。2024年度は、「日本の産業競争力向上のため政府等関連機関への政策提言の発信」「企業の知財経営を推進するための知財戦略、マネジメント、人材育成、知財組織に関する実践的な提言の実施」を目的として、全9テーマについて調査・研究を行っています。2025年度も“知財と無形資産の可視化”“企業秘密と知財戦略”“知財部門のリデザイン”“国際標準戦略”など、ホットな研究テーマを取り上げる予定です。

Q 委員会の特長／魅力は？

常に世の中の動向を捉えながら、「知財が如何に経営に資するか」を一貫して探求してきました。2024年度は、95名の委員の皆さんと知財マネジメントに携わる者であれば誰もが関心のある9テーマについて研究進めています。また、6月の全体会議では8割を超えるメンバーが現地に集まり、昼夜を問わず意見交換や人脈形成を行い、9つのテーマを共有し完成させることを目指しています。近年は、未来のリーダーとなる若手の参加も増えており、業種や役職、年代を超えた一体感ある活動が行われ、知財マネージャーの育成の場としても重要な役割を担っていると自負しています。

Q 委員会としてのこだわりは？

Change ! Challenge ! Manage !! マネジメント委員会は一言でいうと『面白い』委員会であることに拘っています。時流に沿ったテーマ検討や趣向を凝らした委員会運営によりダイナミックな研究・提言活動ができるとともに、なにより能力が高く個性的で魅力的な人財の宝庫です。皆さんも生涯の友人・知人・飲み友達を見つけてみませんか！